

令和 6 年度 第 1 回 新潟支部評議会 議事概要

開 催 日 時	令和 6 年 7 月 24 日 (水) 13 : 30 ~ 15 : 00
会 場	協会けんぽ新潟支部 支部会議室
出 席 評 議 員	青柳評議員 (議長)、秋葉評議員、金子評議員、高野評議員、竹津評議員、近田評議員、宮本評議員、森澤評議員〔五十音順〕
議 題	1. 令和 5 年度決算見込みについて 2. 令和 5 年度新潟支部事業実施結果について 3. その他 (資格情報のお知らせ、健康づくりポスター)
議 事 概 要	
【 被 保 険 者 代 表 】	事務局より各議題について説明を行った後、各評議員よりご意見をいただいた。 ご意見等は次のとおり。 議題 1. 令和 5 年度決算見込みについて 支部別収支の地域差分がマイナスのため、令和 7 年度保険料率にプラスに作用するということでしょうか。また、令和 5 年度決算におけるインセンティブの 174 百万円と比較すると地域差 1,449 百万円は、かなりインパクトがあるように思う。地域差分の過去の推移はどうか。
【 事 務 局 】	一人当たり医療費の全国計と新潟支部の差が見込み時と比べ、決算で小さくなったため、地域差がマイナスとなった。令和 7 年度分に支出として精算するので、保険料率が上がる方向に作用する。 過去の推移について、令和 5 年度は+0.08%、令和 4 年度が△0.09%、令和 3 年度が△0.1%、令和 2 年度が 0%、令和元年度が△0.01%と推移している。 また、インセンティブの原資は保険料率の 0.01%なので、地域差と比べ、そこまで大きな増減とならない。 令和 4 年度実績から減算の効かせ方の見直しを行っており、半数支部の 23 支部から 3 分の 1 支部の 15 支部にインセンティブの付与が変わった。令和 6 年度保険料率の算定において、新潟支部は 451 百万円が付与された。こちらと比較しても、確かに今回の地域差の方のインパクトが大きい。

【学 識 経 験 者】	令和 5 年度の地域差分がプラスとのことだが、何が原因か。
【事 務 局】	医療費の動向から全体の伸び率は 3.5%、新潟支部は全体より高く、4 番目に高い伸び率となっている。呼吸器系の疾患のプラスが全国より高いこと、新型コロナウイルス感染症のマイナスが全国より低いことが要因と考える。
	議題 2. 令和 5 年度新潟支部事業実施結果について
【事業主代表】	P4 の効果的なレセプト内容点検の推進について、KPI 設定の目的は、適正なレセプト請求を目指すのか、誤りを見つけることを目指すのか、どちらととらえるべきか、教えていただきたい。
【事 務 局】	適正なレセプト請求が来ることを目指して実施している。 支払基金の一次査定、協会けんぽがその取りこぼしを二次査定で見つけ出し、その結果を踏まえて支払基金は一次査定へ反映している。新潟支部の査定率の 0.233%というのは全国と比較してかなり低いレベルではあるが、医療機関からのレセプト請求自体に間違いが少ないと言う見方もある。
【被保険者代表】	P10 の特定健診実施率について 10 人未満の事業所への案内方法はいつから変えているのか。また、変更後の増加率についてはいかがか。 また、KPI の設定方法について教えていただきたい。
【事 務 局】	令和 5 年度から、10 人未満の事業所に対して、事業所と被保険者本人と双方に案内を始めている。 増加率については、もともと新潟支部は高い受診率であり、一定数の受診があるため、受診率の伸びが鈍化していると考ええる。 また、K P I は 3 年ごとの保険者機能強化アクションプランで、全体の 3 年後の目標を本部が設定し、その目標値の達成のために、支部の目標が設定されている。
【学 識 経 験 者】	返納金債権について、外国人の資格喪失後の受診によるものが増えていると、報道等でよく耳にするが新潟支部の状況はいかがか。

【 事 務 局 】	全国と比較すると新潟支部は外国人に対する返納金債権は少ない状況である。
【 学 識 経 験 者 】	健康宣言事業数について 第 2 期データヘルス計画の目標 3,000 事業所に対して、1,644 事業所と目標未達であるが、第 3 期データヘルス計画の目標は 4,000 事業所となっている。宣言事業所を増やすための工夫を教えてください。 また、重症化予防対策について、未治療者への受診勧奨をしても岩盤層がなかなか受診しないとのことであったが、アプローチに適した年齢、例えば、男性だと定年退職間近や、女性だと閉経を迎える 50 歳前半など、健康に関心が高まる年齢層をターゲットに絞って行ったらどうか。
【 事 務 局 】	健康宣言について、宣言事業所の取り組みの具体例や協会けんぽからのサポートを広報している。今年度から、サポートの一つとして健康づくりポスターも提供している。 また、新潟県の「健康立県にいがた」事業と連携したり、新潟県と B S N で行っている「にいがたケンジュプロジェクト」へ参画した。 ターゲットを絞った受診勧奨について、年齢層ごとの受診率等を検証して、検討していきたい。
【 学 識 経 験 者 】	まずは、いくつかの事業所で実施してみることが、大事ではないか。 議題 3. その他 資格情報のお知らせ、健康づくりポスターについて事務局より説明
【 事 業 主 代 表 】	資格確認書が手元に来るまでの期間はどの位か。現行の保険証と同じか。就職、また転職した場合の保険証の手続き方法は。
【 事 務 局 】	現行の保険証交付のスケジュールと同じスケジュールを予定している。 従来通り資格取得届を届け出ただけだが、資格確認書は、マイナ保険証をお持ちの方へ基本的に交付はせず、マイナ保険証をお持ちでない方は、資格取得届に交付希望のチェックをしてもらうことになる予定。 なお、交付を希望しなかった方へは、月 1 回マイナ保険証を取得しているか

	確認し、その後に資格確認書を発行する予定であり、交付までに 1 か月以上要する場合がある。
特 記 事 項	・内山評議員は所用により欠席。 ・次回評議会は、令和 6 年 10 月開催予定。 ・傍聴者 1 名